

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年9月18日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年9月18日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【既設多核種除去設備(A)のバッチ処理タンク2Aデカント切替弁の空気漏えいについて】 既設多核種除去設備(A)のバッチ処理タンク2Aデカント切替弁の空気漏えいを確認。 原因は、パッキンの経年劣化によるものと推定。 今後、弁を交換予定。	GⅢ	9月10日
2	【協力企業作業員の体調不良発生について】 凍土壁表層部の被覆モルタルのはつり作業終了後、登録センターへ移動中に左手足のしびれを感じ、救急医療室にて受診。 医師より熱中症Ⅰとの診断を受け、処置後に帰宅。	GⅢ	9月11日
3	【増設多核種除去設備の吸着塔3Bサンプリング弁のシート漏えいについて】 増設多核種除去設備の吸着塔3Bサンプリング弁のシート漏えいを確認。 サンプリング弁の元弁を締めることでシート漏えいは停止。 今後、弁の点検・修理予定。 ※シート漏えい：弁内部の隙間から配管内部に漏えいすること。	GⅢ	9月13日
4	【使用済燃料プールの水質管理用モバイル式処理装置(塩分除去装置)の耐圧試験における弁およびフランジからの漏えいについて】 使用済燃料プールの水質管理用モバイル式処理装置(塩分除去装置)の耐圧試験において、弁およびフランジからの漏えいを確認。 処理装置は車両に積載されているため、車両上での長期保管による経年的な緩み、消耗品の劣化が原因と推定。 今後、漏えい箇所の点検(消耗品の取替・トルク確認等)予定。	GⅢ	9月11日